



2024年1月31日

各 位

会社名 株式会社 Welby
代表者名 代表取締役 比木 武
(コード番号：4438 東証グロース)
問合せ先 CFO兼コーポレート部長 瀧 直人
(TEL. 03-6206-2937)

特別損失（減損損失）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年12月期において、特別損失（減損損失）の計上を行いました。

また、本日開催の取締役会において、2023年8月10日に公表いたしました2023年12月期（2023年1月1日～2023年12月31日）の通期の業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上について

当社の保有する固定資産（ソフトウェア等）について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、直近の業績の動向を踏まえ、将来の回収可能性を慎重に検討した結果、81百万円を減損損失として計上することといたしました。

2. 業績予想の修正

- (1) 2023年12月期通期業績予想の修正
(2023年1月1日～2023年12月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 連結当期純利 益
前回発表予想（A）	百万円 1,156	百万円 △106	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想（B）	575	△437	△438	△505	△64.51
増減額（B－A）	△580	△331	—	—	—
増減率（％）	△50.2	—	—	—	—

(注) 2023年12月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2022年12月期の数値については記載していません。

(2) 差異が生じた理由

売上高については、疾患ソリューションサービスにおいて、主要顧客である外資系製薬企業の決算が集中する第4四半期会計期間に売上が顕著に大きくなるという当社の業績の季節的変動性がある中、同四半期に売上高を実現するための営業及び納品を進める過程で、期初より予定していた製薬会社の依頼によるPHR(※)サービスの案件受注見込みのズレ、また案件長期化による受注遅れ、及び期中における新規案件の積み上げ不足により前回予想805百万円より350百万円減少して455百万円となる見込みとなりました。Welby マイカルテサービスにおいては、生命保険会社等をはじめとする製薬会社以外でヘルスケア領域に新規参入する事業者に対して当社のシステム基盤をOEM提供する営業活動を実施しておりましたが、案件の受注リードタイムが当初想定より長期化したことによる受注遅れ、一部想定してい

た案件の見込みのズレ、及び当第2四半期連結会計期間に100%子会社として設立した株式会社 Welby ヘルスケアソリューションズにおける事業開発の遅れにより前回予想350百万円より230百万円減少して119百万円となる見込みとなりました。

これらの結果、売上高の見通しは575百万円となり前回予想を580百万円下回る見通しとなりました。

売上総利益については、売上高の減少により減少しましたが、売上総利益率としてはPHRプラットフォーム基盤の継続強化のための開発投資による開発コストの低減により想定通り65%となる見通しとなりました。

販管費は採用進捗の一部遅延に伴う人件費及び採用関連費の減少及びコストの見直しによる業務委託費の減少などにより当初予想857百万円より44百万円減少して813百万円となる見通しとなりました。

以上の結果、連結売上高、連結営業利益は上記のように前回予想を下回る見通しとなりました。

※「PHR」とは、個人によって電子的に管理される自らの健康・医療情報のことを指します。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上